

# らくぶう

楽しく 陽るく 荘全体で  
お年寄りの人権を守ります。  
その方らしい生活が出来るよう応援します。  
最後までお世話させていただき準備が出来ています。  
特別養護老人ホーム楽陽荘 平成29年5月号 NO. 285

## <お花見>

ユニ・チャームさんの新人さんに、研修を兼ねて車椅子を押してもらい等のお手伝いをして頂きながら、久しぶりの外出で沢山の桜のお年寄りの皆さんが琴弾公園に満開の桜の花を見に行きました。公園ではお猿さんが手を出して来たり、クジャクが羽を広げて出迎えてくれました。そして大木に咲き誇る桜の下で「うわあ～綺麗や」「やっぱり桜はええなあ～」等の感嘆の声があちらこちらから聞こえ、皆さんの顔が笑顔いっぱいになりました。



## <ユニ・チャーム新人研修>

今年もユニ・チャーム株式会社の全国に配属されている55名の新人社員の皆さんが楽陽荘で実習されました。若い方の元気あふれる挨拶からはじまり、希望に満ちた前向きな姿勢は、私達職員も初心にかえり新鮮な気持ちにさせて下さいました。その実習を終えた皆様からのお礼の言葉と感想文を紹介させていただきます。

.....

お忙しいなか勉強させて頂きありがとうございました。一番の感想は「全然介護についてわかっていなかったし、まだわかっていない」ということです。実習前までは「在宅介護は身近に見てきたからなんとなくこんな感じなのかな」と思っていたのですが、実際は人数も時間の制限もコストも全く異なる施設と在宅介護は同じものとして捉えてはいけなかったと思います。また、本日携わらせて頂いたものが見たものが介護のすべてではないと思います。「現場を知る」ことの大切さを痛感しました。メーカーで働くうえで最も大切な「現場」は原点であり、何度も帰ってくるべき場所を心に刻む事ができたこの気づきをずっと大切にしていきたいです。気付かせて頂く機会を設けて頂き本当にありがとうございました。楽陽荘さんで感じたのは「家族のようなあたたかさ」でした。皆さんを心から信頼しているご老人の方と表情やしぐさなど少しの変化で気持ちがわかる皆さんとの関係は「家族」でした。「ご老人が求めていること」というよりも「ご老人にとって本当のベスト」を考える事があるべき「尽くす」姿であると皆さんから学ばせて頂きました。今後営業職としてお客様に対して「本当に必要なものは何か」をつきつめていくことで「尽くし続けていきたい」と思いました。最後に本日抱いた思いをこれから何年も強く持ち続けることで介護のお力になりたいです。ありがとうございました。

ユニ・チャームA氏

先日はお忙しいところ、我々のような素人の集団を受け入れて頂きありがとうございます。行動の一つ一つが勉強になることばかりで、あっという間に時間が過ぎてしまいました。今思い返してみても、体操の時に私の動きを真似していただいたヒロ子様や食事介助の際に「ええ加減にせえ」とツッコんでいたタマ子様をはじめ、入所者の方々と接した時間は鮮明に覚えております。そして今実習を終えて改めて思ったことは、「相手に楽しい気持ちや笑顔になってもらうためには、まず自分がそれを心掛ける事」です。今後はこのことを意識しながらまごころをもって人と接していきます。また、石村さんや篠原さんをはじめとした楽陽荘のスタッフの皆様には温かく迎え入れていただいたこと、大変感謝しております。新人研修が終わった1月から私も観音寺で働くことになるので、今後も仲良くさせていただきたいと思っています。今後ともよろしく願い申し上げます。ありがとうございました。

ユニ・チャームB氏



## <お楽しみ食>

4月18日、月に一度のお楽しみ食を行いました。普段と違う食事形態でバイキング方式にしてみました。おにぎりや天ぷら・卵焼きなどのお料理に「美味しそう。きれいに盛り付けてあるのに食べるのもったいないなあ」とお話しされながらも、我先にと小皿に取り入れていきました。きな粉のおにぎり、エビの天ぷらが一番人気で、好きなものからどんどんなくなっていきました。お酒もいただきほろ酔い気分でお食事を楽しまれる方や、大好きなものばかりを取り分けて召し上がられる方などいろいろな方がおられました。みなさん目の前のお料理がなくなるまで箸をすすめておられ、たくさん食べていただきました。



## <編集後記>

今年の桜はゆっくりと咲きはじめ長く咲いてくれましたので充分楽しめました。そして日ごとに暖かさが増し、さわやかな新緑の季節となりました。お年寄りの皆さんもこれから外に出かける機会も増えますので、のんびりと散歩を楽しみたいと思います。

広報担当：安藤・高島・藤田